

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成22年11月11日

【四半期会計期間】 第87期第3四半期(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

【会社名】 東京都競馬株式会社

【英訳名】 TOKYOTOKEIBA CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高橋 功

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋三丁目3番9号

【電話番号】 03(3271)9105

【事務連絡者氏名】 常務取締役 磯部 尚志
取締役総務部長 尾井 幹男

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋三丁目3番9号

【電話番号】 03(3271)9105

【事務連絡者氏名】 常務取締役 磯部 尚志
取締役総務部長 尾井 幹男

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次		第86期 第3四半期 連結累計期間	第87期 第3四半期 連結累計期間	第86期 第3四半期 連結会計期間	第87期 第3四半期 連結会計期間	第86期
会計期間		自 平成21年 1月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成22年 1月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成22年 7月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成21年 1月1日 至 平成21年 12月31日
売上高	(千円)	12,829,070	13,291,547	5,704,102	6,196,376	16,337,284
経常利益	(千円)	2,733,286	2,556,658	1,793,890	2,036,273	2,908,743
四半期(当期)純利益	(千円)	1,654,647	1,718,917	1,093,661	1,178,379	1,679,081
純資産額	(千円)			50,043,240	50,906,221	50,102,368
総資産額	(千円)			60,406,634	60,351,451	62,092,086
1株当たり純資産額	(円)			174.95	177.99	175.16
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	5.78	6.01	3.82	4.12	5.87
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)					
自己資本比率	(%)			82.8	84.3	80.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	3,942,049	2,181,083			5,002,938
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	5,195,942	2,220,154			3,914,673
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,742,807	1,598,889			2,007,567
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)			3,610,717	4,050,155	5,688,115
従業員数	(名)			179	177	177

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より事業の種類別セグメントの区分を変更しております。変更の内容につきましては、四半期連結財務諸表注記事項のセグメント情報（注3）事業区分の変更に記載のとおりであります。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成22年9月30日現在

従業員数(名)	177 [64]
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、それ以外の臨時雇用者等については、当第3四半期連結会計期間の平均人員として[外書]で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成22年9月30日現在

従業員数(名)	77 [37]
---------	------------

(注) 従業員数は就業人員であり、それ以外の臨時雇用者等については、当第3四半期会計期間の平均人員として[外書]で記載しております。

第2 【事業の状況】

1 【営業収益の状況】

営業収益実績

当第3四半期連結会計期間における売上高を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
競馬施設事業	2,156,314	10.0
オートレース施設事業	125,221	12.3
遊園地事業	2,665,284	28.3
倉庫賃貸事業	856,802	1.8
サービス事業	392,754	82.7
合計	6,196,376	8.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 第1四半期連結会計期間から事業の種類別セグメントを変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第3四半期連結会計期間を変更後の区分に組み替えて行っております。
 4 主な相手先別の売上高に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
特別区競馬組合	1,658,814	29.1	1,444,166	23.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす事項の発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

区分	契約先	契約内容	契約期間
大井競馬場 (注) 1	特別区競馬組合	賃貸借契約	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
伊勢崎オートレース場 (注) 2	伊勢崎市	賃貸借契約	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(注) 1 賃貸料：原則として勝馬投票券売上高の4.5%

大井競馬場の賃貸借契約については、当第2四半期連結会計期間末以降に契約更新を行ったため、当第3四半期連結会計期間末において営業未収入金が増加しております。

2 賃貸料：原則として勝車投票券売上高の4.0%

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間における売上高は、遊園地事業の業績が好調であったことなどから61億9千6百万円（前年同期比8.6%増）となり、営業利益は20億3千8百万円（同12.9%増）、経常利益は20億3千6百万円（同13.5%増）、四半期純利益は、11億7千8百万円（同7.7%増）となりました。

なお、当社グループの競馬施設事業及びオートレース施設事業ではナイター開催期間、また遊園地事業では大型連休や夏休み期間の売上が、通期の売上高に占める割合が高く、季節的要因により業績が偏在する傾向を有しております。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より事業の種類別セグメントの区分を変更しております。変更の内容につきましては、四半期連結財務諸表注記事項のセグメント情報（注3）事業区分の変更に記載のとおりであります。各セグメントの売上高、営業損益の前年同期比較は、変更後のセグメントに組み替えた金額に基づき記載しております。

[競馬施設事業]

競馬施設事業におきましては、大井競馬場で行われた三宅島帰島5周年を記念する復興感謝イベントに協力するなど各種イベントを実施し、主催者及び関係団体と協力して、ファンサービスの充実と入場者増に努めました。

この間、大井競馬は31日開催され、大井競馬場外発売所（後樂園、汐留、ひたちなか、大郷、新潟他）及び在宅投票並びに南関東3競馬場（浦和、船橋、川崎）などの場外発売（広域場外を含む）を含めた投票券総売上高は262億8千1百万円でありました。前年同期と比べると、開催日数が2日減少したこともあり、投票券総売上高は45億8千7百万円減少いたしました。

また、大井場外発売は浦和競馬が6日、船橋競馬が14日、川崎競馬が19日実施されたほか、その他各地方競馬の広域大井場外発売も136レース実施されました。

以上の結果、競馬施設事業の売上高は21億5千6百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は4億2千7百万円（同33.4%減）となりました。

[オートレース施設事業]

オートレース施設事業におきましては、引き続きイメージガールによる伊勢崎オートレースのPRとファンサービスを行うとともに、雑誌媒体とタイアップしたモータースポーツのイベントを実施するなど、主催者及び関係団体との協力のもと、新規顧客獲得と売上の増進に努めました。

この間、伊勢崎オートレースは26日開催され、川口オートレース他4場の場外発売を含めた投票券売上高は29億4千4百万円でありました。前年同期と比べると、開催日数が1日増加したものの、重賞レースの開催が少なかったことから投票券売上高は4億5千2百万円減少いたしました。

また、川口オートレース他4場の伊勢崎場外発売は延べ87日実施され、投票券売上高は18億5千5百万円でありました。前年同期と比べると、実施日数が減少したことにより、投票券売上高は1億2千5百万円減少いたしました。

以上の結果、オートレース施設事業の売上高は1億2千5百万円（前年同期比12.3%減）、営業損失は3千3百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

[遊園地事業]

東京サマーランドにおきましては、7月にアドベンチャーラグーン（屋外プールエリア）にオープンしたウォータースライダー「タワーズロック」が好評を博し、集客に寄与いたしました。

また、人気のパフォーマンスイベント「ランダーズショー」やFMラジオの公開生放送など各種イベントを実施し集客に努めました。

以上の結果、東京サマーランドの入場人員は65万人（前年同期比28.0%増）で、連日の記録的な猛暑もあって、夏季期間（7月～8月）の入場者数は東京サマーランドオープン以来最高となり、遊園地事業の売上高は26億6千5百万円（同28.3%増）、営業利益は12億4百万円（同46.2%増）となりました。

[倉庫賃貸事業]

倉庫賃貸事業におきましては、倉庫施設の整備・維持に努めるとともに、新たな需要に応えるため、倉庫建替え計画に基づき、老朽化した勝島地区の既存倉庫3棟を解体・撤去し、容積を拡大した新しい倉庫の建築準備を進めました。

以上の結果、建替えに伴う一時解約や賃料減額などの影響により、倉庫賃貸事業の売上高は8億5千6百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は5億9千万円（同2.5%減）となりました。

[サービス事業]

当連結会計年度より新設のサービス事業は、「大井競馬場前ショッピングモール ウィラ大井」のほか、賃貸マンション、コンビニエンスストアやトランクルームの運営などを行っております。「ウィラ大井」の通期稼働に伴う賃貸料収入の寄与により、サービス事業の売上高は3億9千2百

万円（前年同期比82.7%増）、営業利益は9千1百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、第2四半期連結会計期間末に比べ11億5千9百万円増加し、603億5千1百万円となりました。これは、営業未収入金が17億1千3百万円増加、現金及び預金が10億8千8百万円増加したのに対し、有価証券が12億7千9百万円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、第2四半期連結会計期間末に比べ4億4千3百万円増加し、94億4千5百万円となりました。これは、工事代金を主な内容とする未払金が3億3千3百万円増加、営業未払金が1億3千1百万円増加したのに対し、長期借入金の返済額2億5千万円の支払いなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、第2四半期連結会計期間末に比べ7億1千5百万円増加し、509億6百万円となりました。これは、当期中間配当金の総額が4億2千9百万円であるのに対し、四半期純利益11億7千8百万円により利益剰余金が7億4千9百万円増加、その他有価証券評価差額金が3千3百万円減少したことなどが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は第2四半期連結会計期間末の84.8%から84.3%となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、税金等調整前四半期純利益19億2千5百万円、減価償却費7億5千8百万円、有価証券売却による収入11億2千9百万円などに対し、売上債権の増加額17億1千3百万円などにより、第2四半期連結会計期間末に比べ17億4千6百万円増加し、40億5千万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益19億2千5百万円（前年同期比1億1百万円増加）、減価償却費7億5千8百万円（同9千4百万円増加）などに対し、売上債権の増加額17億1千3百万円（同25億4千3百万円増加）などにより、7億7千7百万円の収入（同22億7千1百万円減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券売却による収入11億2千9百万円（前年同期比1億7千5百万円増加）、有価証券償還による収入4億円（同3億円減少）などにより、16億3千9百万円の収入（同43億1千1百万円増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額4億1千9百万円（前年同期比3百万円減少）、長期借入金の返済による支出2億5千万円などにより、6億6千9百万円の支出（同2百万円増加）となりました。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（5）研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成22年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成22年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	287,648,547	287,648,547	東京証券取引所 (市場第一部)	・権利内容に何ら限定の ない当社における標準 となる株式 ・単元株式数 1,000株
計	287,648,547	287,648,547		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年7月1日～ 平成22年9月30日		287,648,547		10,586,297		6,857,668

(6) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成22年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,644,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 283,502,000	283,502	同上
単元未満株式	普通株式 2,502,547		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	287,648,547		
総株主の議決権		283,502	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式7,000株(議決権7個)が含まれております。
 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式516株が含まれております。

【自己株式等】

平成22年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 東京都競馬株式会社	東京都中央区日本橋 三丁目3番9号	1,644,000		1,644,000	0.5
計		1,644,000		1,644,000	0.5

- (注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。
 なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	140	131	135	144	138	136	125	124	123
最低(円)	130	126	126	132	123	123	119	118	119

- (注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。なお、前第3四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年1月1日から平成21年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年1月1日から平成22年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年1月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年1月1日から平成22年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,050,155	6,198,115
営業未収入金	3,846,321	1,435,508
有価証券	1,155,454	2,740,892
たな卸資産	1 90,227	1 59,091
繰延税金資産	212,406	107,437
その他	37,045	328,552
貸倒引当金	434	-
流動資産合計	9,391,175	10,869,598
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2 21,352,207	2 21,810,012
建物附属設備(純額)	2 5,755,731	2 6,080,434
構築物(純額)	2 7,811,335	2 6,790,005
機械装置及び運搬具(純額)	2 1,804,794	2 1,988,909
土地	10,262,038	10,262,038
建設仮勘定	463,125	239,080
その他(純額)	2 439,282	2 419,675
有形固定資産合計	47,888,514	47,590,156
無形固定資産		
ソフトウェア	874,569	1,132,059
施設利用権	46,654	51,105
その他	12,226	12,226
無形固定資産合計	933,450	1,195,391
投資その他の資産		
投資有価証券	1,083,873	1,341,274
長期前払費用	112,016	169,681
繰延税金資産	813,624	796,440
その他	128,796	129,543
投資その他の資産合計	2,138,309	2,436,939
固定資産合計	50,960,275	51,222,488
資産合計	60,351,451	62,092,086

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	522,187	552,026
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払金	709,193	2,671,909
未払法人税等	733,701	711,748
未払消費税等	227,700	35,076
賞与引当金	139,301	45,639
その他	362,645	363,251
流動負債合計	3,694,729	5,379,651
固定負債		
長期借入金	2,175,000	2,925,000
長期預り金	1,762,799	1,765,932
退職給付引当金	1,553,581	1,628,151
役員退職慰労引当金	259,118	267,503
その他	-	23,479
固定負債合計	5,750,499	6,610,066
負債合計	9,445,229	11,989,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,857,668	6,857,668
利益剰余金	33,709,161	32,848,299
自己株式	325,997	321,531
株主資本合計	50,827,129	49,970,733
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	79,091	131,634
評価・換算差額等合計	79,091	131,634
純資産合計	50,906,221	50,102,368
負債純資産合計	60,351,451	62,092,086

(2)【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1 12,829,070	1 13,291,547
売上原価	1 8,951,730	1 9,606,112
売上総利益	3,877,339	3,685,434
一般管理費	2 1,127,250	2 1,125,073
営業利益	2,750,089	2,560,361
営業外収益		
受取利息	18,902	8,203
受取配当金	22,747	21,499
その他	16,120	24,947
営業外収益合計	57,771	54,650
営業外費用		
支払利息	74,194	58,205
その他	378	147
営業外費用合計	74,573	58,353
経常利益	2,733,286	2,556,658
特別利益		
補助金収入	63,500	556,500
受取保険金	30,000	-
工事負担金等受入額	14,258	-
その他	-	14,868
特別利益合計	107,758	571,368
特別損失		
投資有価証券評価損	-	171,532
固定資産除却損	51,094	132,345
特別損失合計	51,094	303,878
税金等調整前四半期純利益	2,789,950	2,824,148
法人税、住民税及び事業税	1,065,367	1,182,767
法人税等調整額	69,935	77,536
法人税等合計	1,135,303	1,105,231
四半期純利益	1,654,647	1,718,917

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1 5,704,102	1 6,196,376
売上原価	1 3,526,135	1 3,791,119
売上総利益	2,177,967	2,405,257
一般管理費	2 372,125	2 366,727
営業利益	1,805,842	2,038,529
営業外収益		
受取利息	4,851	1,899
受取保険金	-	6,897
その他	6,888	7,266
営業外収益合計	11,740	16,063
営業外費用		
支払利息	23,674	18,285
その他	17	33
営業外費用合計	23,691	18,319
経常利益	1,793,890	2,036,273
特別利益		
受取保険金	30,000	-
特別利益合計	30,000	-
特別損失		
固定資産除却損	-	94,245
投資有価証券評価損	-	16,837
特別損失合計	-	111,083
税金等調整前四半期純利益	1,823,890	1,925,190
法人税、住民税及び事業税	484,857	583,167
法人税等調整額	245,371	163,643
法人税等合計	730,229	746,810
四半期純利益	1,093,661	1,178,379

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,789,950	2,824,148
減価償却費	1,948,512	2,282,337
有形固定資産除却損	77,772	5,834
補助金収入	-	556,500
受取保険金	30,000	-
投資有価証券評価損益(は益)	-	171,532
貸倒引当金の増減額(は減少)	597	434
賞与引当金の増減額(は減少)	97,529	93,661
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,674	74,569
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	31,253	8,385
受取利息及び受取配当金	41,650	29,702
支払利息	74,194	58,205
投資有価証券売却損益(は益)	-	113
売上債権の増減額(は増加)	130,026	2,410,812
たな卸資産の増減額(は増加)	5,115	31,135
仕入債務の増減額(は減少)	104,240	29,838
未払消費税等の増減額(は減少)	89,403	192,624
長期預り金の増減額(は減少)	234,090	3,133
その他	176,887	286,960
小計	5,137,436	2,771,775
利息及び配当金の受取額	37,267	28,401
利息の支払額	57,104	44,762
補助金の受取額	-	586,500
法人税等の支払額	1,175,550	1,160,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,942,049	2,181,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,293,000	1,475,000
定期預金の払戻による収入	1,170,000	1,985,000
有価証券の取得による支出	1,930,000	2,500,000
有価証券の売却による収入	954,074	1,996,853
有価証券の償還による収入	1,600,000	2,090,000
有形固定資産の取得による支出	2,911,520	4,314,911
無形固定資産の取得による支出	782,624	5,085
投資有価証券の売却による収入	-	3,230
その他	2,872	241
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,195,942	2,220,154
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	750,000	750,000
自己株式の取得による支出	7,940	4,465
配当金の支払額	984,866	844,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,742,807	1,598,889
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,996,699	1,637,959
現金及び現金同等物の期首残高	6,607,417	5,688,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,610,717	1 4,050,155

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年12月31日)
1 たな卸資産の内訳	1 たな卸資産の内訳
商品 62,181千円	商品 28,308千円
貯蔵品 22,493千円	貯蔵品 23,618千円
原材料 5,551千円	原材料 7,164千円
合計 90,227千円	合計 59,091千円
2 有形固定資産の減価償却累計額 66,161,138千円	2 有形固定資産の減価償却累計額 64,327,452千円
3 偶発債務	3 偶発債務
偶発債務は、次のとおりであります。 従業員のみずほ銀行財形 住宅ローンに対する保証 1,612千円	偶発債務は、次のとおりであります。 従業員のみずほ銀行財形 住宅ローンに対する保証 7,495千円

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
1 当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中(夏期)に年間入場者数の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。	同左
2 一般管理費に含まれる主要な費用は次のとおりです。	2 一般管理費に含まれる主要な費用は次のとおりです。
役員報酬及び従業員給与等 504,021千円	役員報酬及び従業員給与等 519,264千円
賞与引当金繰入額 55,669千円	賞与引当金繰入額 48,622千円
役員退職慰労引当金繰入額 37,613千円	役員退職慰労引当金繰入額 39,657千円
退職給付費用 65,443千円	退職給付費用 61,679千円
減価償却費 12,577千円	減価償却費 12,935千円
その他 451,925千円	その他 442,915千円
合計 1,127,250千円	合計 1,125,073千円

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1 当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中(夏期)に年間入場者数の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。	同左
2 一般管理費に含まれる主要な費用は次のとおりです。	2 一般管理費に含まれる主要な費用は次のとおりです。
役員報酬及び従業員給与等 150,585千円	役員報酬及び従業員給与等 151,230千円
賞与引当金繰入額 36,740千円	賞与引当金繰入額 33,140千円
役員退職慰労引当金繰入額 12,727千円	役員退職慰労引当金繰入額 13,176千円
退職給付費用 17,177千円	退職給付費用 15,974千円
減価償却費 4,211千円	減価償却費 4,448千円
その他 150,683千円	その他 148,757千円
合計 372,125千円	合計 366,727千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 6,006,717千円	現金及び預金 4,050,155千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金 2,396,000千円	預入期間が3ヶ月を超える 定期預金 -
現金及び現金同等物 3,610,717千円	現金及び現金同等物 4,050,155千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日
至平成22年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	287,648,547

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	1,649,763

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年3月26日 定時株主総会	普通株式	429,049	1.50	平成21年12月31日	平成22年3月29日	利益剰余金
平成22年7月29日 取締役会	普通株式	429,006	1.50	平成22年6月30日	平成22年9月1日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効
力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	競馬場事業 (千円)	オートレース場 事業 (千円)	遊園地事業 (千円)	施設賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,605,217	142,756	2,077,116	879,011	5,704,102	-	5,704,102
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,787	-	56	-	1,843	(1,843)	-
計	2,607,004	142,756	2,077,173	879,011	5,705,946	(1,843)	5,704,102
営業利益又は 営業損失()	638,449	4,547	823,834	609,655	2,067,392	(261,549)	1,805,842

(注) 1. 事業区分の方法: 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な内容

- (1) 競馬場事業・・・大井競馬場と場外発売所の賃貸事業及び場内サービス事業他
- (2) オートレース場事業・・・伊勢崎オートレース場賃貸事業他
- (3) 遊園地事業・・・東京サマーランド事業他
- (4) 施設賃貸事業・・・物流倉庫賃貸事業及び郊外型レストラン賃貸事業他

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

	競馬施設 事業 (千円)	オートレース 施設事業 (千円)	遊園地 事業 (千円)	倉庫賃貸 事業 (千円)	サービス 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,156,314	125,221	2,665,284	856,802	392,754	6,196,376		6,196,376
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	746		995		15,676	17,418	(17,418)	
計	2,157,060	125,221	2,666,279	856,802	408,431	6,213,794	(17,418)	6,196,376
営業利益又は 営業損失()	427,615	33,745	1,204,161	590,949	91,104	2,280,085	(241,556)	2,038,529

(注) 1. 事業区分の方法: 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な内容

- (1) 競馬施設事業・・・大井競馬場及び場外発売所施設の賃貸並びに付帯事業
- (2) オートレース施設事業・・・伊勢崎オートレース場の賃貸他
- (3) 遊園地事業・・・東京サマーランドの運営
- (4) 倉庫賃貸事業・・・物流倉庫の賃貸
- (5) サービス事業・・・商業施設等の賃貸及びサービス施設の運営

3. 事業区分の変更

従来、事業の種類別セグメントは、内部管理上の観点から「競馬場事業」、「オートレース場事業」、「遊園地事業」及び「施設賃貸事業」の4区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「大井競馬場前ショッピングモール ウィラ大井」の通期稼働を契機に、顧客へのサービスを主体とした施設賃貸及び運営事業については、将来的な成長も見込まれることから、従来の「競馬場事業」及び「施設賃貸事業」から分離し、「サービス事業」として区分することといたしました。

また、これに併せ事業の内容及び特徴をより明瞭に表すため、従来の「競馬場事業」、「オートレース場事業」及び「施設賃貸事業」は、「競馬施設事業」、「オートレース施設事業」及び「倉庫賃貸事業」にそれぞれ名称変更を行っております。

なお、前第3四半期連結会計期間における事業の種類別セグメント情報について、変更後の事業区分によった場合は、次のとおりであります。

	競馬施設 事業 (千円)	オートレース 施設事業 (千円)	遊園地 事業 (千円)	倉庫賃貸 事業 (千円)	サービス 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,396,600	142,756	2,077,116	872,711	214,916	5,704,102		5,704,102
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高			56		648	705	(705)	
計	2,396,600	142,756	2,077,173	872,711	215,565	5,704,807	(705)	5,704,102
営業利益又は 営業損失()	642,372	4,547	823,834	605,916	183	2,067,392	(261,549)	1,805,842

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	競馬場事業 (千円)	オートレース場 事業 (千円)	遊園地事業 (千円)	施設賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,196,197	404,187	2,517,609	2,711,075	12,829,070	-	12,829,070
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,721	-	156	-	3,878	(3,878)	-
計	7,199,918	404,187	2,517,766	2,711,075	12,832,948	(3,878)	12,829,070
営業利益又は 営業損失()	1,515,105	6,688	136,549	1,894,720	3,539,686	(789,597)	2,750,089

(注) 1. 事業区分の方法：事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な内容

- (1) 競馬場事業・・・大井競馬場と場外発売所の賃貸事業及び場内サービス事業他
- (2) オートレース場事業・・・伊勢崎オートレース場賃貸事業他
- (3) 遊園地事業・・・東京サマーランド事業他
- (4) 施設賃貸事業・・・物流倉庫賃貸事業及び郊外型レストラン賃貸事業他

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	競馬施設 事業 (千円)	オートレース 施設事業 (千円)	遊園地 事業 (千円)	倉庫賃貸 事業 (千円)	サービス 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,116,522	383,693	3,099,422	2,577,343	1,114,566	13,291,547		13,291,547
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,907		995		15,686	18,589	(18,589)	
計	6,118,429	383,693	3,100,417	2,577,343	1,130,253	13,310,137	(18,589)	13,291,547
営業利益又は 営業損失()	981,368	20,622	489,815	1,766,225	108,900	3,325,686	(765,324)	2,560,361

(注) 1. 事業区分の方法：事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な内容

- (1) 競馬施設事業・・・大井競馬場及び場外発売所施設の賃貸並びに付帯事業
- (2) オートレース施設事業・・・伊勢崎オートレース場の賃貸他
- (3) 遊園地事業・・・東京サマーランドの運営
- (4) 倉庫賃貸事業・・・物流倉庫の賃貸
- (5) サービス事業・・・商業施設等の賃貸及びサービス施設の運営

3. 変更後の事業区分

前第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメント情報について、変更後の事業区分によった場合は、次のとおりであります。

	競馬施設 事業 (千円)	オートレース 施設事業 (千円)	遊園地 事業 (千円)	倉庫賃貸 事業 (千円)	サービス 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,610,833	404,187	2,517,609	2,692,175	604,263	12,829,070		12,829,070
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,934		156		648	2,739	(2,739)	
計	6,612,767	404,187	2,517,766	2,692,175	604,912	12,831,809	(2,739)	12,829,070
営業利益又は 営業損失()	1,542,036	6,688	136,549	1,882,262	14,473	3,539,686	(789,597)	2,750,089

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

本国以外の国又は地域との営業取引が発生しないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年12月31日)
177.99円	175.16円

2 1株当たり四半期純利益金額等

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 5.78円	1株当たり四半期純利益金額 6.01円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	1,654,647	1,718,917
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,654,647	1,718,917
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式の期中平均株式数(株)	286,063,468	286,010,647

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 3.82円	1株当たり四半期純利益金額 4.12円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	1,093,661	1,178,379
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,093,661	1,178,379
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式の期中平均株式数(株)	286,046,541	286,001,769

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成22年7月29日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しております。

配当金の総額 429,006千円
 1株当たりの金額 1円50銭
 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成22年9月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月10日

東京都競馬株式会社
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山村 浩太郎 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 遠藤 洋一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 千保 有之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東京都競馬株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成21年1月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東京都競馬株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年11月9日

東京都競馬株式会社
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山村 浩太郎 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 遠藤 洋一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 千保 有之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東京都競馬株式会社の平成22年1月1日から平成22年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成22年1月1日から平成22年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東京都競馬株式会社及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。